

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年02月02日

計画の名称	連続立体交差事業による安全・安心な地域づくりの推進（交通拠点連携集中支援）												
計画の期間	平成30年度～平成30年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	広島市												
計画の目標	連続立体交差事業を行い、踏切事故や踏切遮断による渋滞を解消し、安全・安心な地域づくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	51	A	51	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	対象事業区域における広島市域の踏切交通遮断率〔24時間〕を27.9%（H26）から0%に低減する。 踏切交通遮断率を整備前後で比較する。 踏切交通遮断率（%）＝日踏切交通遮断時間／24時間	28%	%	28%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
※H31年度から通常補助に移行するため。												

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	J R 山陽本線・呉線	連続立体交差 L=1.9km	広島市	■					51	—	
		国債設定期間：未定																	
											小計						51		
											合計						51		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	27				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	27				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	7				
翌年度繰越額 (f)	20				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(様式第8)
計画の名称
計画の期間

社会資本総合整備計画 参考図面

平成31年3月25日

連続立体交差事業による安全・安心な地域づくりの推進(交通拠点連携集中支援)
平成30年度(1年間)

交付団体 広島市(広島市)

【広島市 社会資本総合整備計画 対象事業No.2.3】

連続立体交差事業による安全・安心な地域づくりの推進(交通拠点連携集中支援)

